

はじめに

政治を行う代表者を選ぶのが選挙です。

私たちは、家族や地域、学校や職場など、さまざまな社会の中で暮らしています。

私たちの暮らしている社会をよくするためには、私たちの意見が政治に反映されることが必要です。

しかし、いろいろな考えを持った人たちが大勢集まって話し合い、意見をまとめることは大変難しいことです。

そこで、代表者を選び、私たちの代わりに政治を行うことにしています。この代表者は「選挙」により決まります。国会議員、都道府県知事、都道府県議会議員、市区町村長、市区町村議会議員のような公職につく人が、選挙人（有権者）の投票により選ばれます。選挙は、国民が政治に参加する最大の機会であり、民主主義の根幹をなすものです。

政治と生活の密接な関わり

学校のことも...

学校は、学校教育法という法律に基づいて設置されます。各学校の教育目標、教科、1クラスの生徒数、教員数なども法律や法律に基づく基準などで細かく決められています。



通学中・移動中にも...

「青は進んでよい」「赤は止まれ」...これは道路交通法という法律で決められています。こうした法律を作ったり、改正するのは政治家（国会議員）の仕事です。



買い物に行くと...

普段の生活で、私たちは様々な品物を購入しますが、そのときには消費税がかかります。

消費税率を何%にするか、また、税金の使い道をどうするか、といったことを決めるのも政治家です。



テレビ番組も...

誰でも自由にテレビ番組を放送できるわけではありません。

テレビ番組を放送するためには、免許が必要です。そのような手続き（法律）を決めるのも政治家です。



私たちの生活している社会の中には、様々な法律（ルール）や課題・問題があります。法律を決めたり課題・問題を解決したりするために、私たちの選んだ代表者が政治をおこなっています。

代表者が変われば、私たちの生活にも変化があります。

また、私たちが政治に対して抱くイメージも大きく変わるものです。

どんな代表者を選べばいいのか、じっくりと検討しましょう。

